

淑女検定

西洋占星術

チャレンジテーマ

はるか昔の人々が星と星をつないだ星座。やがて星の位置が国家や人々の運命を示すものと考えられるようになり、占星術は世界中に広がっていった。秋の夜長に星空を見上げてみては。

問題 1 雑誌などでよく知られている12星座占い。誕生日によって決まる星座の訳とは？

- A. 誕生日に太陽が位置していた星座
- B. 誕生日に月が位置していた星座
- C. 中世イギリスの魔術師が決めた
- D. 戦後、日本の出版社が決めた

問題 2 占星術とつながりが深い天文学。次のうち間違いはどれ？

- A. ガリレオは占星術師でもあった
- B. 占星術は天文学から派生した
- C. 占星術は学問だった
- D. 占星術は天動説に基づく

問題 3 ホロスコープでは星を記号で記す。♂は火星、さて♀は？

- A. 月
- B. 太陽
- C. 金星
- D. 天王星



SBS学苑
バルシェ校

今月の先生



【西洋占星術】講師
杜香里 もり かおり

英国占星術協会会員、準星空案内人

生まれた時の星の位置を表したホロスコープを使って、歴史と知恵が詰まった星占いの世界を分りやすく解説する講座を開催

SBS学苑 バルシェ校
INFORMATION

10/20(日) 14:30~16:00

浮世絵〜描かれた庶民文化

講師/石上阿希(国際日本文化研究センター 特任助教)

受講料/2,970円(税込) 管理運営費/110円

藤枝市出身の講師が、世界が注目する浮世絵から江戸庶民の暮らしや文化などについて読み解いていきます。制作工程も紹介します。

【お問い合わせ・お申し込み】
Tel.054-253-1221

正解 & 解説

問題 1 → 正解 A

私たちが何気なく触れてきた12星座占い。誰もが自分の星座の名前を言えるほど日本でも浸透しているが、なぜ誕生時期によって星座が区切られているかについては、あまり知られていない。西洋占星術は、10の天体(太陽、月を含む)が生まれた時どこに位置していたかを元に占う。よく知られる12星座占いは、生まれた時に「太陽」がどの星座にあったか。大衆向けに簡略化し、印刷技術の発展とともに広まった。

問題 2 → 正解 B

占星術は、まだ地動説が明らかになっていないはるか昔に発展し、学問としての地位を築いていた。やがて占星術から天文学が派生。天文学者として知られるガリレオ・ガリレイやヨハネス・ケプラーも占星術には精通しており、占うための天体の配置図「ホロスコープ」や貴族に向けて書いた占星術の解説文書も残っている。「占星術と天文学は親と子のような関係なんですよ」と杜先生。

問題 3 → 正解 C

赤く輝く火星は戦いの象徴、明るく輝く金星は美しさの象徴とされてきた。火星は♂、金星は♀の記号が、転じて男女を表す記号になった。この10月、金星が一番星で輝き出す。地球から見た金星の軌道は花の模様を描きます。優雅に美しいものを見て、おいしいものを食べて過ごすといいですよ」と杜先生。「でも占星術は生き方を断定するものではありません。人生を楽しむツールの一つと考えてくださいね」